**別紙１**

***（提出に当たり、本ページは削除してください。）***

【基礎研究ステージ】

（チャレンジ型）

応募様式（研究課題提案書）

＜記載例及び留意事項を含む＞

|  |
| --- |
| ○　所定の様式（Word）を用い、様式の改変は絶対に行わないでください。○　文字数に制限がある項目は、文字数を厳守してください。○　文字数に制限のない項目（特段の指示がない項目）においても、分量が過多にならないよう、簡潔明瞭で理解しやすい記載を心がけてください。○　該当しない様式は、削除して提出してください。○　原則、**明朝体**で記載してください。○　本事業での研究項目ごとの呼称は、一番大きな区分を中課題（１、２・・・）とし、以下を小課題（（１）、（２）・・・）、と称します。**本様式の青文字及び不要なページ等を削除して、研究課題提案書として提出してください。作成した様式は、府省共通究管理システム（e-Rad）に必要事項を入力後、忘れずにアップロードしてください。** |

***（提出に当たり、本ページは削除してください。）***

***（提出に当たり、本ページは削除してください。）***

○　研究課題提案書は、以下の構成となっています。

【必須】となっている様式は、必ず提出してください。

【該当研究課題のみ】となっている様式は、該当研究課題のみ提出してください。

|  |
| --- |
| **基礎研究ステージ［チャレンジ型］** |
| 様式１ | 研究計画調書 | 【必須】 |
| 様式２ | 研究課題内容 | 【必須】 |
| 別記様式１－１ | 研究課題概要図 | 【必須】 |
| 別記様式１－２ | 研究グループの構成 | 【必須】 |
| 別記様式１－３ | 研究課題の構成及び年度目標（令和４年度細部研究計画） | 【必須】 |
| 別記様式１－４ | － | 　－ |
| 別記様式２ | － | 　－ |
| 別記様式３ | 参画機関の知的財産への取組状況等 | 【必須】 |
| 別記様式４ | 情報管理実施体制について | 【必須】 |
| 別記様式５ | 研究管理運営機関を活用する理由書 | 【該当研究課題のみ】 |
| 別記様式６ | 研究支援者の情報等 | 【該当研究課題のみ】 |
| 別記様式７ | － | 　－ |
| 別記様式８ | 若手研究者からの提案 | 【該当研究課題のみ】 |
| 別記様式９ | 農業分野におけるＡＩ・データに関する契約ガイドライン | 【該当研究課題のみ】 |
| 別記様式１０ | データマネジメント企画書 | 【必須】 |
| 別記様式１１ | オープンＡＰＩの要件化に係る確認事項 | 【該当研究課題のみ】 |
| 別記様式１２ | 研究活動の不正行為防止のための対応 | 【必須】 |

○　研究課題提案書は、様式内に青文字で記載している「記載例及び留意事項」をよく確認の上で作成してください。

○　本事業への応募は全て「府省共通研究開発管理システム(e-Rad)」で行います。応募に必要な様式は全てe-Radにて提出してください。（e-Radの詳細は公募要領の「別紙２」をご参照ください。）

***（提出に当たり、本ページは削除してください。）***

**様式１　研究計画調書　*必須***

**基礎研究ステージ（チャレンジ型）**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 受付番号 | 区　　分 | 備　　　考 |
| 研究委託費 | 研究実施期間 |
| *（記載不要）* | チャレンジ型 | １千万円以内/年 | １年以内 |

|  |  |
| --- | --- |
| 研究課題名 |  |
| 研究期間 | 　　　　令和４年度（ １ 年間 ） |
| 分野 ※４ |  |
| 分科 |  |
| 細目表ｷｰﾜｰﾄﾞ |  |
| 細目表以外のキーワード |  |
| 研究統括者氏名 | （フリガナ） |  |
| （漢字等） |  |
| 所属研究機関 |  |
| 住所 | 〒 |
| 電話番号※２ |  | FAX |  |
| E-mail |  |
| 部局 |  |
| 職名 |  |
| 経理事務担当者氏名 |  | 経理担当部局名・連絡先等 | 電話番号：FAX番号：E-mailアドレス： |
| 研究管理運営機関責任者氏名 ※３ | （フリガナ） |  |
| （漢字等） |  |
| 所属研究機関 |  |
| 住所 | 〒 |
| 電話番号 |  | FAX |  |
| E-mail |  |
| 部局 |  |
| 職名 |  |
| 経理事務担当者氏名 |  | 経理担当部局名・連絡先等 | 電話番号：FAX番号：E-mailアドレス： |

※１　各項目には応募時点のものを記載しますが、今後の機関名の変更、市町村合併等による所在地の変更、研究統括者の変更等が既に決まっているものがあれば、その変更時期及び内容を括弧書きで記載してください。

※２　電話番号、FAX番号及びE-mailアドレスは、半角文字で記載してください。

※３　研究管理運営機関を活用する場合のみ記載してください（活用しない場合は削除）。

※４　「分野」「分科」「細目表キーワード」については、日本学術振興会の下記のホームページに掲載されている審査区分表から、それぞれ「中区分」「小区分」「内容の例」から該当するコード番号等を記載してください。

<https://www.jsps.go.jp/j-grantsinaid/02_koubo/shinsakubun.html>

（例）大区分Ｆ、中区分38〔農芸化学およびその関連分野〕、小区分38010〔植物栄養学および土壌学関連〕、内容の例：植物代謝生理　の場合

分野：38（農芸化学およびその関連分野）

分科：38010〔植物栄養学および土壌学関連〕

細目表キーワード：植物代謝生理

**１．各年度別経費内訳**

※　表がページをまたがる場合は改ページしてください。

**（１）研究グループ（コンソーシアム）全体分**

（単位：千円）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 大項目 | 中項目 | 令和４年度 |
| 直接経費 | 1.物品費 | 設備備品費 |  |
| 消耗品費 |  |
| 2.旅　費 | 旅　費 |  |
| 3.人件費・謝金 | 人件費 |  |
| 謝金 |  |
| 4.その他 | 外注費 |  |
| その他（外注費以外） |  |
| 直接経費計 |  |
| 間接経費（上記経費の30%以内） |  |
| 委託費合計（直接経費＋間接経費） |  |

※　参画する全ての研究機関の経費の合計を記載してください。

**（２）研究機関別内訳**

＜研究グループ（コンソーシアム）代表機関：○○○○＞

（単位：千円）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 大項目 | 中項目 | 令和４年度 |
| 直接経費 | 1.物品費 | 設備備品費 |  |
| 消耗品費 |  |
| 2.旅　費 | 旅　費 |  |
| 3.人件費・謝金 | 人件費 |  |
| 謝金 |  |
| 4.その他 | 外注費 |  |
| その他（外注費以外） |  |
| 直接経費計 |  |
| 間接経費（上記経費の30%以内） |  |
| 委託費合計（直接経費＋間接経費） |  |

＜研究グループ（コンソーシアム）共同研究機関：○○○○＞

（単位：千円）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 大項目 | 中項目 | 令和４年度 |
| 直接経費 | 1.物品費 | 設備備品費 |  |
| 消耗品費 |  |
| 2.旅　費 | 旅　費 |  |
| 3.人件費・謝金 | 人件費 |  |
| 謝金 |  |
| 4.その他 | 外注費 |  |
| その他（外注費以外） |  |
| 直接経費計 |  |
| 間接経費（上記経費の30%以内） |  |
| 委託費合計（直接経費＋間接経費） |  |

**※　参画共同研究機関ごとに、共同研究機関名と表を追加して記載してください。**

＜研究管理運営機関：○○○○＞

※　研究を実施しない研究管理運営機関を設置する場合は、以下の表を作成してください。該当しない場合は、表ごと削除してください。

（単位：千円）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 大項目 | 中項目 | 令和４年度 |
| 直接経費 | 1.物品費 | 設備備品費 |  |
| 消耗品費 |  |
| 2.旅　費 | 旅　費 |  |
| 3.人件費・謝金 | 人件費 |  |
| 謝金 |  |
| 4.その他 | 外注費 |  |
| その他（外注費以外） |  |
| 直接経費計 |  |
| 一般管理費（上記経費の15%以内） |  |
| 委託費合計（直接経費＋一般管理費） |  |

**※　「１．各年度別経費内訳」作成の留意事項**

１．委託費の内訳は、公募要領別紙５「府省共通経費取扱区分表」にしたがって記載してください。

２．各所要額（人件費・謝金を除く）は、消費税（10％）込みで記載してください。

３．設備備品費は、原則、初年度に計上するよう計画を立ててください。なお、園芸施設や畜舎など、一般的な建物や構築物の取得は認められません。

４．設備備品を導入する際には、購入、リース、レンタル等の手段から、経済性等を勘案して最適な方法を選択してください。

また、受託者の負担により整備すべき机、椅子、書庫等の什器、パソコン、デジカメ又はその周辺機器など、汎用性の高い事務機器等の購入は原則として認められません。

ただし、

・　本事業で購入した研究用機器の制御装置や解析装置として付属されているパソコン、プリンタ等

・　本事業で収集したデータの保存・解析等のために専用で使用するパソコン・デジカメ等

・　調査現場で収集したデータの保存、事業遂行に必要な各種画像データの保存に必要なパソコン周辺機器等

については、本事業でのみ使用することを前提に、理由書の事前提出により、その必要性を生研支援センターが認めた場合に限り計上できます。

５．パソコン、デジカメ又はその周辺機器など汎用性の高い事務機器、コピー用紙、トナー、USB メモリ、HDD、Windows等のOS、フラットファイル、文房具、作業着、食品用ラップ、辞書、定期刊行物等の汎用性が高い消耗品については、原則として計上は認められませんが、本事業のみに使用することを前提に、当該年度で使用する最低限の必要数については認められます。必要性や購入数について、生研支援センターからの求めに応じて説明できるよう、理由書等の準備が必要になります。

６．旅費については、直接本事業に係るもののみ計上可能であり、例えば、単なる情報収集のための学会出張等（本事業における明確な必要性等がないもの）は認められません。また、外国への出張旅費及び外国から研究者等を招へいするための旅費等は、原則認められません。これらが不可欠な場合は、その必要性や出張先を、様式２の「２．（２）研究項目ごとの研究内容」に具体的に記載してください。また、様式１の（１）（２）の「２．旅費」欄に外国旅費の見積額を記載してください（記載例：（うち外国旅費○○○））。

　　なお、研究管理運営機関は、外国旅費及び招へい旅費・滞在費を計上できません。

７．間接経費は、研究機関等が研究遂行に関連して間接的に必要とする経費であり、管理部門、研究部門、その他関連事業部門に係る施設の維持運営経費等、研究の実施を支えるための経費であって、直接経費として計上できない経費です。間接経費は、個々の構成員ごとに、直接経費の30％以内の額を計上できます。なお、所要額については管理部門等とあらかじめよく相談の上、計上してください。

　　特許等の本事業で得られた成果を権利化するために必要な経費（特許出願、出願審査請求、補正、審判等に係る経費）については、間接経費での支出が可能です。ただし、登録や維持に関わる費用は受託者の自己負担となります。

８．一般管理費は、研究管理運営業務の遂行に直接関連していないが、当該業務推進のために必要な事務費、光熱水料、燃料費、通信運搬費、租税公課、事務補助職員の賃金等であって、直接経費の15％に相当する額を上限として必要額を計上できます。

**（３）研究組織（研究統括者及び研究分担者）**

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 氏名研究者番号 | 所属研究機関部局職名 | 現在の専門学位（最終学歴）役割分担 | 令和４年度研究経費（千円）（直接経費・間接経費）※３ | エフォート（％）※４ |
| 研究統括者 |  |  |  |  |  |
|  |  |
|  |
|  |  |
| 研究分担者 |  |  |  |  |  |
|  |  |
|  |
|  |  |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |
|  |
|  |  |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |
|  |
|  |  |
| 計　　○○名 | 令和４年度研究経費合計 |  |  |

※１　必要に応じて欄を追加して記載してください。

※２　中課題責任者には○、小課題責任者には△を、該当する氏名の前に記載してください。研究計画の遂行に関し、名目的に名前を連ねるなど実質的な責任を負わない者は、研究分担者として加えることができないので注意してください。

※３　上段に直接経費を、下段に間接経費を記載してください。

※４　当該研究者の全仕事時間に占める本研究課題に充てる時間の割合（小数点以下を四捨五入した整数値）を記載してください。

**様式２　研究課題内容　*必須***

**１．研究目的**

**（１）提案のきっかけとなった農林水産業･食品産業等における技術的課題**

※　科学的・技術的観点からの研究目的・背景について記載してください。その際、単に、人口、食料、環境問題の解決への貢献といった抽象的な目標ではなく、農林水産省「食料・農業・農村基本計画」や「農林水産研究イノベーション戦略」等も参照しつつ、農林水産・食品分野において、①何が問題となっており、②どのような技術開発が必要とされているのか、または、③どのような新しい産業技術シーズとなるのか等について、既存技術・分野との対比を含めて具体的に記載してください。

**（２）科学的・技術的観点からの新規性・先導性・優位性**

※　現行の技術水準や関連分野の研究開発状況を踏まえて、研究内容の科学的意義に対する新規性・独創性が分かるように記載してください。

また、技術水準が高く類似する研究成果が他にも存在する場合、提案する研究課題の先導性・優位性が分かるように記載してください。

**（３）本研究における最終目標**

※　本研究期間終了時に目標とする技術・成果の定量的な目標等を具体的に記載してください。

**（４）行政施策への貢献について**

※　「科学技術・イノベーション基本計画」や農林水産省「食料・農業・農村基本計画」「農林水産研究イノベーション戦略」等に記載されている国の科学技術行政施策にどのように貢献するのか、また、重要性や将来性の観点から、その必要性について具体的に記載してください。

**（５）政策の推進上、重点を置く課題（重点課題）***（該当研究課題のみ記載）*

**①「みどりの食料システム戦略」の推進に資する研究課題***（該当研究課題のみ記載）*

　　　応募課題が「みどりの食料システム戦略～食料・農林水産業の生産力向上と持続性の両立をイノベーションで実現～」（令和３年５月12日みどりの食料システム戦略本部決定。以下「みどりの食料システム戦略」という。）の推進に資する研究課題である場合、下表（１）～（７）の右欄に○を付けてください（複数回答可）。

　　　さらに、みどりの食料システム戦略の「４ 具体的な取組」の各項目（・（ポツ）で記載の項目）に直接該当する場合は、下表『戦略の「４ 具体的な取組」の項目』欄に、その該当する項目を記入してください。（複数回答可。なお、該当する項目が無い場合は記載しないでください。）

　　　また、応募課題における具体的な研究内容及び目標についても記載してください。

|  |  |
| --- | --- |
| （１）資材・エネルギー調達における脱輸入・脱炭素化・環境負荷軽減の推進に資する技術開発 |  |
| （２）イノベーション等による持続的生産体制の構築に資する技術開発 |  |
| （３）ムリ・ムダのない持続可能な加工・流通システムの確立に資する技術開発 |  |
| （４）環境にやさしい持続可能な消費の拡大や食育の推進に資する技術開発 |  |
| （５）食料システムを支える持続可能な農山漁村の創造に資する技術開発 |  |
| （６）サプライチェーン全体を貫く基盤技術の確立と連携に資する技術開発 |  |
| （７）カーボンニュートラルに向けた森林・木材のフル活用によるCO2吸収と固定の最大化に資する技術開発 |  |
| 戦略の「４ 具体的な取組」の項目 | （「みどりの食料システム戦略」の「４ 具体的な取組」のうち、該当する項目名を記入） |
| 具体的な研究内容 | （200文字程度で簡潔に） |
| 実現すべき目標 | （200文字程度で簡潔に） |

**②　農福連携等の推進に資する研究課題***（該当研究課題のみ記載）*

|  |
| --- |
| ※　応募する研究課題が、「農福連携等推進ビジョン」に関係し、障がい者・高齢者を雇用する生産現場等の技術開発を実施するものであることを、簡潔に記載してください。 |

**（６）社会実装に向けたロードマップ**

**ア　ロードマップ**

|  |  |
| --- | --- |
| 社会実装に向けて解決すべき課題 | 社会実装に向けてボトルネックとなっている課題を簡潔に記載してください。 |
| 研究内容の適切性 | 上述の課題を解決するに当たり、本応募様式で提案する研究課題が他の手法と比較して最適であることを簡潔に説明してください。 |
| 社会実装（実用化）される技術の内容 | 本研究を進めることにより実用化される技術の性能・スペック等を具体的に記載してください。 |
| 研究ステージごとの研究内容及び達成目標 |
| 既往の研究成果 | 本研究を実施するに当たり、既往の研究成果を簡潔に記載してください。 |
| 基礎研究ステージ【チャレンジ型】（令和○年度） | 既往の研究成果に基づき、本ステージにおける研究内容と達成目標を簡潔に記載してください。 |
| 基礎研究ステージ【基礎研究型】（令和〇～〇年度） | チャレンジ型で達成する目標を踏まえて、基礎研究型で実施する予定の研究内容と達成目標を簡潔に記載してください。 |
| 応用研究ステージ（令和○～○年度） | 基礎研究ステージで達成する目標を踏まえて、応用研究ステージ（自己資金による研究を含む）で実施する予定の研究内容と達成目標を簡潔に記載してください。 |
| 開発研究ステージ（令和○～○年度） | 応用研究ステージで達成する目標を踏まえて、開発研究ステージ（自己資金による研究を含む）で実施する予定の研究内容と達成目標を簡潔に記載してください。 |
| 社会実装・実用化（令和○年度） | 出口戦略（想定する実装先とその規模）：誰に対してどのような価値を提供するのか、誰とどのように取引して利益を上げるのかなど、想定している出口戦略（ビジネスモデル）を、自らの役割も含め簡潔に記載してください。 |

**イ　研究成果により期待されるマクロ的な経済効果**

※　研究成果を生産現場等へ導入した場合の技術の代替効果、付加価値等のマクロ的な経済的効果について、可能な限り定量的（試算で可）に記載するとともに、その算出根拠についても具体的に記載してください。

**（改ページしてください）**

**２．研究計画・方法**

**（１）研究の概要**

※　「１．（３）本研究における最終目標」に到達するため、本研究課題で行う研究の概要について、簡潔に記載してください。

**（２）研究項目ごとの研究内容**

※１　中課題又は小課題ごとに具体的な研究内容（試料・材料、対象、調査・分析手法等の詳細）、課題間の関係及び「１．（３）本研究における最終目標」との関係について記載してください。

※２　中課題順に１．、２．、・・、小課題順に（１）、（２）、・・と番号を付してください。

（「１．研究目的」、特に「１．（３）本研究における最終目標」に対応した内容となるよう留意してください。）

※３　本事業では、原則として外国出張は認めていませんが、委託研究遂行上の必要がある場合は、本欄に記載（出張目的、行き先（国名・都市名）、期間を明示）してください。

**（改ページしてください）**

**３．研究業績（研究者情報）**

**（１）研究統括者の経歴等（研究統括者のみ記載）**

|  |  |
| --- | --- |
| 研究統括者名 | 農林　太郎 |
| 主な職歴と研究内容 | ○○年～○○年　○○大学○○学部助手○○年～○○年　○○大学○○学部助教授○○年～○○年　○○大学○○学部教授○○に関する研究に従事○○○○の○○○栽培方法を開発（○○年） |

**（２）主な研究論文、著書及び特許の取得**

※　本項目には、研究統括者及び研究分担者がこれまでに発表した論文、著書、産業財産権（特許出願番号等）、招待講演のうち、本研究に関連する重要なものをresearchmapからコピーする方法により、現在から順に発表年次を過去にさかのぼって記入してください（全員分あわせて５件以内）。

・　雑誌の場合は、タイトル、著者名、学会誌名、巻（号）、ﾍﾟｰｼﾞ－ﾍﾟｰｼﾞ、発行年（西暦）

・　書籍の場合は、タイトル、著者名、出版社名、発行年（西暦）

・　特許の場合は、特許名、特許番号、取得又は出願年月日（西暦）の順に記載

・　著者（共著者）に本人及び研究分担者が含まれる場合は、名前にアンダーラインを付してください。

【記載例】

〈論文〉

「○○○に関する研究」、農林太郎、水産次郎、畜産三郎、○○学　会誌、1(1)、20-30(200○)

「Development of novel analysis method for ○○○○」農林太郎、 Gaikokujin A., 林業花子, Gaikokujin B.*Journal of Agriculture,*1　　(1) 20-30(200○)

 　 ※外国語論文であっても、日本人の共著者の氏名は日本語標記としてください。

〈著書〉

「○○の現状」、農林太郎、○○出版社（200○）

〈特許〉

「○○○の製造方法」、特願200○-○○○、出願200○年○月○日

**（改ページしてください）**

**４．研究費の応募・受入等の状況・エフォート**

**＜研究統括者＞（氏名　○○　○○）**

**（１）応募中の研究費**

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 資金制度・研究費名（研究期間・配分機関等名） | 研究課題名（研究代表者氏名） | 役割(代表・分担の別) | 令和４年度の研究経費(期間全体の額)(千円) | エフォート(%) | 研究内容の相違点及び他の研究費に加えて本研究課題に応募する理由 |
| 【本応募研究課題】（R ～R　 ） |  | 代表 | （　　） |  | （総額　　　千円） |
|  |  |  | （　　） |  | （総額　　　千円） |

**（２）受入予定の研究費**

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 資金制度・研究費名（研究期間・配分機関等名） | 研究課題名（研究代表者氏名） | 役割(代表・分担の別) | 令和４年度の研究経費(期間全体の額)(千円) | エフォート(%) | 研究内容の相違点及び他の研究費に加えて本研究課題に応募する理由 |
|  |  |  | （　　） |  | （総額　　　千円） |
|  |  |  | （　　） |  | （総額　　　千円） |

**（３）その他の活動　　　エフォート：　　　％**

**＜研究分担者＞（氏名　○○　○○）**

**（１）応募中の研究費**

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 資金制度・研究費名（研究期間・配分機関等名） | 研究課題名（研究代表者氏名） | 役割(代表・分担の別) | 令和４年度の研究経費(期間全体の額)(千円) | エフォート(%) | 研究内容の相違点及び他の研究費に加えて本研究課題に応募する理由 |
| 【本応募研究課題】（R ～R　 ） |  | 分担 | （　　） |  | （総額　　　千円） |
|  |  |  | （　　） |  | （総額　　　千円） |

**（２）受入予定の研究費**

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 資金制度・研究費名（研究期間・配分機関等名） | 研究課題名（研究代表者氏名） | 役割(代表・分担の別) | 令和４年度の研究経費(期間全体の額)(千円) | エフォート(%) | 研究内容の相違点及び他の研究費に加えて本研究課題に応募する理由 |
|  |  |  | （　　） |  | （総額　　　千円） |
|  |  |  | （　　） |  | （総額　　　千円） |

**（３）その他の活動　　　エフォート：　　　％**

※　本応募課題の研究統括者及び研究分担者の応募時点における、「（１）応募中の研究費」、「（２）受入予定の研究費」、「（３）その他の活動」について、次の点に留意して記入してください。また、「（１）応募中の研究費」、「（２）受入予定の研究費」欄には、本事業だけでなく他の研究費についても記入してください。

①　「資金制度・研究費名（研究期間・配分機関等名）」

研究費の名称、研究期間、配分機関等名を記入してください。

　②　「研究課題名（研究代表者氏名）」

　　　研究課題名を記入してください。なお、研究分担者等で参画している場合は、括弧書きで当該研究課題の研究代表者等の氏名を記入してください。

　③　「役割（代表・分担の別）」

　　　当該研究者の役割が研究代表者等の場合は「代表」と、研究分担者等の場合は「分担」と記入してください。

　④　「令和４年度の研究経費（期間全体の額）（千円）」

　　　令和４年度に本人が受け入れ自ら使用する研究費の直接経費の額（応募中のものは応募額）を上段に記入し、併せて研究期間全体で自ら使用する総額（予定額）を下段に括弧書きで記入してください。

また、本人が研究分担者等の場合は、令和４年度に本人が受け入れ自ら使用する分担金の額（予定額）を上段に記入し、併せて研究期間全体で自ら使用する分担金の額（予定額）を下段に括弧書きで記入してください（分担金が配分されない場合は、それぞれ「０」を記入してください）。

⑤　「エフォート」

　研究実施者の年間の全仕事時間を100％とした場合、そのうち「（１）応募中の研究費」、「（２）受入予定の研究費」及び「（３）その他の活動」それぞれの研究活動等の実施に必要となる時間の配分割合（％）を記入してください。なお、「全仕事時間」とは、研究活動の時間のみではなく、教育活動等を含めた実質的な全仕事時間を指します。

　また、競争的資金制度により研究を行う場合には、当該研究活動に係るエフォートを必ず記載してください。本応募研究課題が採択された場合には、改めてその時点におけるエフォートを決定し、e-Radに登録することとなります。

⑥　「研究内容の相違点及び他の研究費に加えて本研究課題に応募する理由」

　応募中又は受入予定の研究費と本応募研究課題の研究内容の相違点、及び他の研究費に加えて本研究課題に応募する理由について、焦点を絞って明確に記入してください。併せて、研究期間全体の直接経費の総額（予定額）を記入してください。

**（改ページしてください）**

**５．これまでに受けた研究費とその成果**

資金制度名：

期間（年度）：　　年度～　　年度

研究課題名：

研究統括者又は研究分担者の別：

研究経費（直接経費）：　　千円

研究成果：

中間評価結果：

事後評価結果：

※　研究統括者及び研究分担者が、これまでに受けた研究費（所属研究機関より措置された研究費、府省・地方公共団体・研究助成法人・民間企業等からの研究費等。なお、現在受けている研究費も含む。）による研究成果等のうち、本研究の立案に生かされているものを選定し、それぞれの研究費ごとに、資金制度名、期間（年度）、研究課題名、研究統括者又は研究分担者の別、研究経費（直接経費）を記入の上、研究成果及び中間・事後評価（当該研究費の配分機関が行うものに限る。）結果を簡潔に記入してください。

【留意事項】

１．各項目は、当該資金制度に応じて適宜読み替えてください。

２．本研究の立案されている研究費等が複数ある場合は、研究費ごとに項目を追加して記載してください。

**（改ページしてください）**

**別記様式１－１　研究課題概要図***Ａ４用紙１枚（縦・横いずれでも可）・****必須***

|  |  |
| --- | --- |
| 課題名 |  |

※１　研究課題の全体像が体系的に分かるように、イラスト・写真・図表などを用いて、様式２の「１．（３）本研究における最終目標」と「２．（１）研究の概要」を中心に、研究の背景や波及効果、農林水産業・食品産業への貢献を加味した平易で簡潔なフロー図を作成してください。

※２　必ずＡ４用紙１枚にまとめてください。必要に応じて用紙を横長に使用しても構いません。

　　具備すべき項目

　　　〇研究の達成目標（解決すべき課題と研究期間終了時の明確な目標）

　　　〇研究内容の概要

　　　〇参画研究機関の役割と連携関係

〇本研究により想定される社会実装・実用化の内容及びその時期

〇実用化されることによる波及効果、国民生活等への貢献

**別記様式１－２　研究グループの構成***Ａ４用紙１枚（縦・横いずれでも可）・****必須***

|  |
| --- |
| ※　参画する研究機関が、どのような関係性をもって研究を実施するのか、図で分かりやすく記載してください。 |

**別記様式１－３　研究課題の構成及び年度目標（令和４年度細部研究計画）　*必須***

**ア　中小課題ごとの研究計画**

１．○○○○・・・・・（中課題名を記載）

（１）○○○○・・・・・（小課題名を記載）＜担当機関：○○○○＞

※　小課題を設けない場合は、中課題ごとの研究内容（開発目標、手法等）を記載してください。その場合、「（１）小課題名」は記載不要です。

①　研究の進捗状態

※　この小課題に関連するこれまでの自己の研究経緯や、他者の研究を含めた研究状況について、残されている問題を含めて簡潔に記載してください。（200字程度）

②　当該課題の研究目的（研究期間全体）

※　当該課題を実施する目的、必要性を簡潔に記載してください。（100字程度）

③　令和４年度の達成目標

※　「いつまでに」「何を」達成するか、極力数値目標を記載するなどして、具体的かつ簡潔に記載してください。（100字程度）

④　令和４年度の研究内容

※　③を達成するための研究手法・内容を具体的かつ簡潔に記載してください。（300～400字程度）

※　本事業では原則として外国出張は認められませんが、研究遂行上の必要があり令和４年度に予定している場合は、本欄に記載（出張目的、行き先（国名・都市名）、期間を明示）してください。

（２）○○○○・・・・・（小課題名を記載）＜担当機関：○○○○＞

①　研究の進捗状態

②　当該課題の研究目的（研究期間全体）

③　令和４年度の達成目標

④　令和４年度の研究内容

**※　以下、課題ごとに繰り返し記載してください。**

**イ　研究機関別の試験研究計画**　*（必要に応じて行を追加・削除）*

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 契約権限を有する機関名（研究実施機関名※支所等名まで記載） | 契約権限を有する機関の住所（研究実施機関[支所等]の住所） | 試験研究内容 |
| **代** | （国研）○○機構（▲▲研究センター） | 〒○○－○○○○県・・・（〒▲▲－▲▲■■県・・・） | ・・・の解析や・・・技術の開発を実施する。開発された・・・・技術等の研究成果等を参画機関に提供するとともに、ウェブサイト等により全国に公開する。委託費の限度額：　　　　　円自己資金計：　　　　　　　円 |
| **共** | ○○県（□試験場□□支所） | 〒○○－○○○○県・・・（〒△△－△△　□□県・・・） | ○○大学が解析した・・・・情報を基に、・・・・・評価手法を開発するとともに、・・・・の現地調査を行い、・・・・技術の開発も併せて実施する。委託費の限度額：　　　　　円自己資金計：　　　　　　　円 |
| **共** | ○○県□□研究センター | 〒○○－○○○○県・・・ | 各参画機関の研究情報、評価手法及び試作品の改良を踏まえて、・・・・マニュアルを作成して配布する。委託費の限度額：　　　　　円自己資金計：　　　　　　　円 |
| **共** | ○○大学 | 〒○○－○○○○県・・・ | 本研究の基盤となる・・・・の解析を実施する。また、解析の結果、明らかになった・・・・情報を他の参画機関に提供し、研究課題の推進を図る。委託費の限度額：　　　　　円自己資金計：　　　　　　　円 |
| **共** | （独）○○機構（△△研究所） | 〒○○－○○○○県・・・（〒△△－△△　□□県・・・） | ○○大学、○○県○○試験場○○支所の解析した情報を基に○○株式会社と共同で・・・の試作を実施する。プロトタイプ（試作品）を作成し、使用者の意見を聞きながら改良を加える。委託費の限度額：　　　　　円自己資金計：　　　　　　　円 |
| **共** | ○○株式会社※農林漁業者の場合：畜産業　○○太郎 |  | ○○機構○研究所と共同で・・・の試作を実施する。プロトタイプを作成し、使用者の意見を聞きながら改良を加えて、実用化を図る。委託費の限度額：　　　　　円自己資金計：　　　　　　　円 |
|  | 委託費の合計額（各機関の委託費限度額の合算）　　　　　　　　　 円　　　 |
| 自己資金の合計額（各機関の自己資金の合算） 円 |

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| **協** | 農業者　○○○○ | － | ほ場において・・・の技術の実証を行い、ほ場栽培における課題を把握する。 |
| **協** | 有限会社○○○○ | － | 本研究で開発される・・・について、実用化・商品化に向けた・・・の実証試験等を行う。 |

*（必要に応じて行を追加・削除）*

注１：代表機関は「代」、共同研究機関は「共」、協力機関は「協」と記載してください。

注２：採択された場合、本表は委託契約書の別紙としても添付されることから、機関名は正式名称で記載する（略称不可）とともに、住所は都道府県から記載してください。

注３：本表は、構成員別の委託費の限度額を示すものでもあることから、例えば同一組織の部門等で別々に記載した場合、部門等それぞれで委託費限度額が規定されるため、同一組織であっても所定の手続きを行わなければ委託費の流用ができなくなることに留意してください。

注４：機関名欄は、契約権限を有する機関名をまず記載し、下段に括弧書きで、実際の研究実施機関を支所等名まで記載してください。

例① ○○県（△△研究センター）

例② （国研）▲▲機構（××研究部門）

注５：住所欄は、機関名に対応して、契約権限を有する機関の住所（本部、本庁等）を記載し、下段に括弧書きで、実際の研究実施機関（支所等）の住所を記載してください。

注６：機関名欄及び住所欄において、「契約権限を有する機関」と「実際の研究実施機関」が同一の場合は、括弧書きの記載は不要です。

注７：試験研究内容の欄には、令和４年度に実施する内容を簡潔に記載してください。

注８：金額は**円単位**で記載してください。また、農研機構においても金額を記載してください。

注９：協力機関とは、研究課題を遂行する上で必要な第三者です。協力機関はコンソーシアムの構成員とは異なるため、研究費の配分を直接受けることはできません（必要経費は、代表機関又は構成員から外注、謝金等の形で支払われます）。また、協力機関だけに研究成果を帰属させる、あるいは成果としての知的財産を帰属させることはできません。詳しくは、公募要領の３（６）を参照してください。

**（改ページしてください）**

**別記様式３　参画機関の知的財産への取組状況等***原則Ａ４用紙３枚以内・****必須***

１　各参画機関における、知的財産方針等の知的財産の管理に関する方針の有無

※　当該項目については、各参画機関が知的財産の管理に関する方針等を定め、その方針等に基づいて知的財産の管理を行っているかを確認するものなので、各参画機関の知的財産の管理に関する方針等を定めている場合は、○印を記入し、内容について記載してください。

|  |  |
| --- | --- |
| 管理方針の有無 | 知的財産方針等の知的財産の管理に関する方針の内容 |
| （記載例）**○** | （記載例）参画機関○○「有」：○○知的財産方針参画機関○○「有」：知的財産に関する基本方針参画機関○○「無」 |

２　各参画機関における知的財産部門や担当官等による管理体制の有無

※　当該項目については、各参画機関における知的財産の管理体制について確認するものなので、各参画機関の知的財産の管理体制を定めている場合は、○印を記入し、内容について記載してください。

|  |  |
| --- | --- |
| 管理体制の有無 | （記載例）　**○** |
| 管理体制の内容 | （記載例１）参画機関○○「有」知的財産全般の管理を行う知的財産部を設置し、担当○名により管理参画機関○○「有」○○課に知的財産の管理等を行う者を配置　参画機関○○「有」○○長が一括管理（適宜、外部弁理士等に相談）　参画機関○○「無」（記載例２） |

３　知的財産の実施許諾

※　研究成果による知的財産を活用した事業化を一層促進する観点から、知的財産の取得後、広く実施許諾できるようにする方針があれば記載してください。

|  |
| --- |
| （記載例）本事業で得られた研究成果のうち、○○○を用いた○○○技術については特許化を行うが、本技術を各産地で広く普及させるために知的財産の取得後５年後を目途に広く実施許諾できるようにする予定である。 |

研究グループの構成員として参画している研究機関が、当知的財産の実施許諾を確認し、同意している場合は、下表に○を記入してください。

|  |  |
| --- | --- |
| 当知的財産の実施許諾は、研究グループの構成員として参画している研究機関に内容を確認していただき、同意を得ています。 |  |

**（改ページしてください）**

**別記様式４　情報管理実施体制について　　*必須***

　情報管理実施体制

|  |
| --- |
| （記載例）【研究代表機関：○○○○○○】　　　　　　【共同研究機関：○○○○○○】　情報管理統括責任者　　　　　　　　　　　　　情報管理責任者　　役職：○○○○　　　　　　　　　　　　　　　役職：○○○○　　氏名：○○○○　　　　　　　　　　　　　　　氏名：○○○○　情報管理責任者　　　　　　　　　　　　　【共同研究機関：○○○○○○】　　役職：○○○○　　　　　　　　　　　　　　情報管理責任者　　氏名：○○○○　　　　　　　　　　　　　　　役職：○○○○　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　氏名：○○○○　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　【共同研究機関：○○○○○○】　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　情報管理責任者　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　役職：○○○○　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　氏名：○○○○ |

※　適切な体制が整うのであれば、情報管理統括責任者及び情報管理責任者は、研究統括者（研究分担者）と同一の者でも構いません。

**（改ページしてください）**

**別記様式５　研究管理運営機関を活用する理由書***Ａ４用紙１枚以内・該当研究課題のみ提出*

|  |  |
| --- | --- |
| 課　題　名 |  |
| 代表機関名 |  | 研究統括者名 |  |
| 研究管理運営機関名 |  | 研究管理運営機関の責任者名 |  |

・研究管理運営機関を活用する理由

※　本事業では、生研支援センターが必要と認めた場合に限り、研究統括者が所属する研究機関等（研究グループで応募する場合は代表機関）とは別に、生研支援センターとの委託契約業務や経理執行業務を担う機関（以下「研究管理運営機関」という。）を設置できるものとします。

［研究運営管理機関を設置できる場合］

・　地方公共団体において、研究の実施に当たって事前に予算措置を要する等の特殊性を考慮し、地方公共団体に所属する研究者が研究統括者となる場合であって、かつ、地方公共団体に経理責任者を配置することが困難と認められる場合

・　研究統括者が中小企業等に所属している、又は研究グループに多数の中小企業等が参画しており、国との委託契約の実績がほとんど無いため、委託契約の締結が著しく遅延することが想定される場合

 これは特例措置であることから、本様式に、研究管理運営機関を活用する理由（代表機関等が生研支援センターと委託契約を締結することが困難な理由）を明確に記載してください。

　　また、本様式を提出するにあたっては、必ず地方公共団体や中小企業等の財政担当部長等の了承を得るとともに、財政部局担当者の連絡先（担当者氏名、所属部署、役職、電話番号及びE-mailアドレス）を記載してください。

令和○○年○○月○○日

代表機関の財政担当責任者

|  |
| --- |
| 担当者の連絡先 |
| 担当者氏名 |  |
| 所属部署 |  |
| 役　　　職 |  |
| 電話番号・FAX |  |
| E-mail |  |

**別記様式６　研究支援者の情報等***Ａ４用紙２枚以内・該当研究課題のみ提出*

1. 研究支援者の情報

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 氏名 | ○○　○○（ふりがな） | 年齢 | ○歳 |
| 所属・役職 | 公益社団法人○○○○　○○支援コーディネーター○○機構　○○マッチングプランナー |
| 国との関係 | 農林水産省産学連携支援事業コーディネーターJST○○コーディネーター |

※「国との関係」欄は、国で行っている事業等において支援を行っているものについて記載してください。

※　研究支援者が「知」の集積と活用の場の研究開発プラットフォームのプロデューサーである場合は、所属・役職欄に「●●研究開発プラットフォーム プロデューサー」と記載してください。

（２） 経歴

|  |
| --- |
| ○年△月　○○機関において、○○に従事○年△月　○○会社と○○法人○○と商品開発のマッチングを実施し、開発された商品が、□年□月より販売開始・・・ |

　※　これまでに従事した業務や、コーディネート・マッチングした実績又はマッチング等によって研究成果を活用した製品が開発された実績等について、具体的に10事例以内で記載してください。

**（改ページしてください）**

**別記様式８　若手研究者からの提案**　*該当研究課題のみ提出*

|  |  |
| --- | --- |
| 　研究統括者及び研究分担者**全員**が以下のいずれかに該当する場合、右欄に〇を記載してください。（１）令和４年４月１日時点で39歳以下の研究者（２）令和４年４月１日時点で42歳以下の研究者であって、出産・育児・社会人経験等、研究に従事していない期間を差し引くと、39歳以下となること |  |

研究統括者及び研究分担者全員の氏名、生年月日及び令和４年４月１日現在の年齢等を記載してください。

また、（２）に該当する者については、研究に従事していない期間（出産・育児・社会人経験等）を記載してください。

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 氏　名 | 所属 | 生年月日 | 年齢 | 研究に従事していない期間 |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |

**（改ページしてください）**

**別記様式９　農業分野におけるAI・データに関する契約ガイドライン**

*該当研究課題のみ提出*

|  |  |
| --- | --- |
| 農業現場で農業関係者がスマート農機（トラクター、コンバイン等）、ドローン（ほ場の情報を扱うもの）、農業ロボット（搾乳ロボット等）、ＩｏＴ機器（環境制御施設、自動給水栓、飼養管理機器等を含む）等を利用することで生じるデータ等（画像やノウハウを含む）をスマート農業関連の製品・サービス提供事業者が受領・保管する場合、「農業分野におけるＡＩ・データに関する契約ガイドライン」（令和２年３月農林水産省作成）に示す留意事項に配慮した上で、契約条項例を参考として契約を行っている場合には、右欄に「〇」を記載してください。 |  |

※　該当する場合で、委託先候補となった場合は、契約締結までに**「農業分野におけるAI・データに関する契約ガイドライン（以下、ガイドライン）」**に準拠したデータ提供等の契約を相手の農家等を締結してください。

また、研究開始に当たり、契約内容がガイドラインに準拠していることを確認したチェックリスト（別紙６）と、契約先の農家等に契約内容を説明し、同意を得て契約した旨を記載した同意書を、セットで保存してください。当該チェックリストと同意書は、生研支援センターが提出を要請する場合には提出してください。

なお、要請に基づき提出されない場合、あるいは作成されていない場合、委託契約書に基づき、契約の打ち切りと委託費の返還となることに留意してください。

**（改ページしてください）**

**別記様式１０　データマネジメント企画書　*必須***

本事業では、別紙７のとおりデータマネジメントに係る基本方針を定めておりますので、基本方針に基づきデータマネジメント企画書（※）を作成してください。

　（※）様式はウェブサイトに掲載しています。

　「別添（別記様式１０関係）データマネジメント企画書.xlsx」

**（注）データマネジメント企画書は、pdf化の上、応募様式（研究課題提案書）と一緒に（結合して）、府省共通研究開発管理システム（e-Rad）へアップロードしてください。**

**（改ページしてください）**

**別記様式１１　オープンＡＰＩの要件化に係る確認事項***該当研究課題のみ提出*

**トラクター、コンバイン又は田植機**の導入等（購入、リース、レンタル）を希望する場合は、以下の「参考」をご確認の上、希望する農機のメーカーの状況についてチェック（黒色（■）にする）してください。

・　導入を希望する農機のメーカーが、自社 web サイトや農業データ連携基盤への表示等を通じて、データを連携できる環境を

□整備している（または整備する見込みである）　　 □整備していない

（参考）

API を自社 web サイトや農業データ連携基盤への表示等を通じて、データを連携できる環境を整備している、または整備する見込みである農機メーカー

（令和３年 12 月１日時点農林水産省調べ、五十音・アルファベット順で記載）

国内メーカー：井関農機株式会社、株式会社クボタ、三菱マヒンドラ農機

株式会社、ヤンマーアグリ株式会社

海外メーカー：AGCO Corporation(Fendt、MASSEY FERGUSON、Valtra）、

CLAAS KGaA mbH、CNH industrial N.V（Case IH, New Holland, Stayer）、

Deere & Company(John Deer)、SDF group(SAME、DEUTZ-FAHR、Lamborghini)

※ 「整備していない」にチェックがついた場合は、採択が決定した際に、整備しているメーカーの農機に変更いただくか、導入を希望する農機でなければ事業目的を達成できない旨を別途証明いただく等の対応が必要になりますので、ご承知おきください。

**（改ページしてください）**

**別記様式１２　研究活動の不正行為防止のための対応　*必須***

※ **以下の誓約書を提案書様式に添付（pdf化し、結合）して提出**してください。

※ 委託業務事務担当者説明会資料の動画については、研究統括者が下記ウェブサイトから視聴してください。

　　https://www.youtube.com/watch?v=SgaFWfP7kHM

※ 青文字の記載例・留意事項は削除して提出してください。

国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構

生物系特定産業技術研究支援センター所長 殿

研究倫理に関する誓約書

令和４年度イノベーション創出強化研究推進事業（新規課題）の応募に当たり、「農林水産省所管の研究資金に係る研究活動の不正行為への対応ガイドライン」（平成18年12月15日付け18農会第 1147号農林水産技術会議事務局長、林野庁長官及び水産庁長官通知）を遵守いたします。

なお、委託業務事務担当者説明会資料の動画については、視聴し、これらの内容について、遵守することを誓約いたします。

令和 　年 　月 　日

コンソーシアム名

代表機関名

研究統括者名